

山口宇部医療センター

山口がん・呼吸器センター

〒755-0241 宇部市東岐波685番地
TEL 0836-58-2300
FAX 0836-58-5219

メールアドレス renkei@yamaguchi.hosp.go.jp
ホームページアドレス <http://www.yamaguchi-hosp.jp/>

〔山口県がん診療連携推進病院(肺がん)〕
2014. 7

だより



「看護の日」イベント風景 サンパークあじす

病院の理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

基本方針

- がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
- 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
- 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
- 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
- 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。

就 任 挨 捶



看護部長 三浦 妙子

目前に広がる青い海原と満開の桜に迎えられ、平成26年4月1日付で山口宇部医療センターの看護部長として赴任してまいりました三浦です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は、今まで広島（呉・福山）、岡山（南岡山・邑久光明園）、鳥取（米子）、山口（関門）、広島（東広島）、香川（大島青松園）と5県8施設を巡り、山口宇部医療センターは、9番目の施設で、山口県内では2度目の勤務となりました。前任地の「大島青松園」はハンセン病の療養所で瀬戸内海の離島にあり、自然豊かなところでしたが、山口宇部医療センターも美しい景色に囲まれた本当に素晴らしい病院だと感動しています。

当院は、国立病院機構における中国地方胸部慢性呼吸器疾患の基幹病院として、さらに、山口県における唯一の呼吸器専門病院としての役割を担っています。肺がんをはじめとするがん診療では、診断・外科治療・化学療法・放射線治療、緩和医療と総合的に医療を提供できる体制が整っています。また、結核を含む呼吸器疾患、特に重症呼吸器疾患の診療にも力を入れています。さらに、当院は、重症心身障害児（者）の専門施設として、超重症児を受け入れるポスト-NICU（新生児集中治療室）の役割も担っています。

これらの診療機能に併せて看護部としては、より質の高い看護ケアの提供を目指していきたいと思っています。現在、当院には10名の認定看護師（がん性疼痛1名・がん

化学療法2名・がん放射線看護1名・緩和ケア2名・慢性呼吸器疾患看護1名・摂食・嚥下障害看護1名・感染管理2名）がいます。様々な分野の専門知識を活かしながら患者様一人ひとりに、最良のケアが提供できる様努めてまいりたいと思います。

今年度は、新採用者26名（新卒21名）を迎える、重症心身障害児（者）病棟の看護体制が7対1の配置となりました。この病棟で勤務する他職種（児童指導員・保育士等）の方々とも連携をとりながら、患児（者）の皆様が、より一層安全で安心な療養生活がおくれる体制を整えて行きたいと思います。

当院の理念である「患者の権利を尊重し最新の医学知識に基づく医療を提供します」の基に、チーム医療を推進し、より一層、地域の皆様に信頼される病院となれるよう、職員一同と力を合わせて取り組んでまいります。皆様のご支援とご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。



日本胸部外科学会 プレナリーセッションでの指定討論者の経験



統括診療部長、呼吸器外科科長 **岡部 和倫**

2013年10月に開催された第66回日本胸部外科学会で、プレナリーセッションの指定討論者を務めさせていただきました。たいへん貴重で光栄な経験ができましたので、ご報告致します。

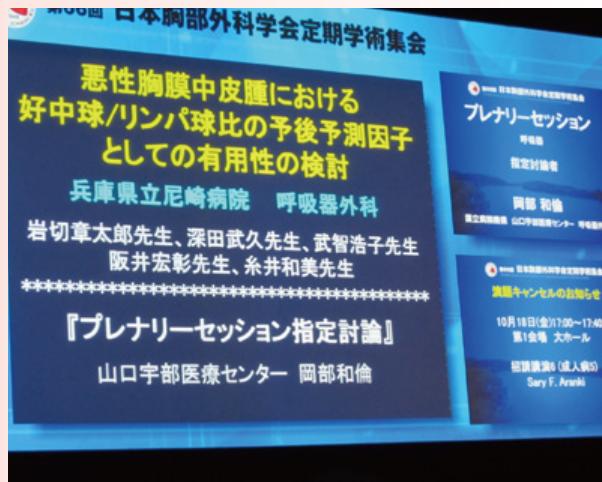


写真1

日本胸部外科学会は、心臓・血管と肺と食道の3分野の学術集会です。胸部外科では、日本で最も権威の高い学会とされています。2013年は、東北大学が事務局で、会場は仙台国際センターでした。全国から1,462題もの演題が応募され、848題（58%）が採択されました。評価の極めて高い4演題が、プレナリーセッションに選ばされました。プレナリーセッションは、優秀な発表を学会出席者全員で聞き、討論する目的で設けられています。心臓・血管から2題、肺から1題、食道から1題でした。

私の専門の肺は、兵庫県立尼崎病院の岩切先生が、「悪性胸膜中皮腫における好中球/リンパ球比の予後予測因子としての有用性の検討」を発表されました。岩切先生の御発表に

対する討論の口火を切る指定討論者に、私が胸部外科学会から指名していただきました。悪性胸膜中皮腫や肺癌を一生懸命診療してきましたので、胸部外科学会が認めて下さったように思えて、たいへん嬉しかったです。写真1のようなスライドを用意して、岩切先生に質問をしました。写真2は、質問中の私ですが、少し緊張しているようです。

山口宇部医療センターは呼吸器疾患の診療を得意としていますので、肺癌や胸膜中皮腫の患者さんが多く受診されています。特に、「悪性胸膜中皮腫」の患者さんは全国から来られています。胸膜外肺全摘術という胸膜中皮腫に対する手術を受けられた最近10人の患者さんの住所は、大阪、神奈川、山口、北海道、群馬、埼玉、奈良、兵庫、奈良、愛知です。山口県宇部市の田舎にある病院に全国から来ていただいています。患者さんやご家族の期待に応えられるように、日本胸部外科学会プレナリーセッションでの指定討論者の経験を良い機会として、さらに精進しようと誓っています。今後とも、よろしくお願い致します。



写真2

「楽しく学べる研修」 —新採用者研修の工夫—

教育研修担当師長 服部 有希



去る4月2日から10日間の日程で、平成26年度採用の新人看護師研修を開催しました。当院は、採用後に国立病院機構看護職員能力開発プログラムに沿って、採用時オリエンテーション・集合研修を企画しています。初めて社会人となり、更に専門職としての技術や知識を求められる新人看護師は、期待と不安を胸に緊張感が高い状況で研修に参加します。このような状況で、講義形式の研修ばかりでは、学習効果が上がりにくいと考え「楽しく学べる研修」をテーマとして、毎年、採用時研修を企画しています。研修内容は、1. 看護基準を基に、医療安全・感染管理を踏まえた内容とする。2. 事例を用いて、どのように行動すればよいか主体的に考えることができる内容とする。3. 患者体験を取り入れる。4. アイスブレイクを取り入れる。の4点を踏まえ「実践に生かせる内容」にしづらり、企画・運営しています。



モデル人形で採血の練習中！！

最近の新人看護師の傾向として、自分が体験したことがないことを想像して「相手はこう思うだろうなあ。このように対応されるとうれしい（嫌な）気持ちになるかな。」など

と自分の身に置き換えて考えることが、やや苦手であると思います。しかし、自分で体験してみるなど具体的に可視化すれば、想像豊かに考えることができます。「体験してみると結構怖い。」「もっとこうした方が、患者さんの不安が軽減できると思う。」などと仲間と意見交換しながら、真剣に取り組んでいます。

先輩NSのマンツーマン指導のもと
輸血ポンプのとりあつかいを実践中！！



しんけんな表情…

今年度は、特に現場教育と集合研修の連動にしづらり、研修内容を吟味しました。午後から行う集合研修の実際を午前中に自分の配属部署で、教育担当者から説明を受けて、集合研修に参加するようにしました。例えば、午

採血前に、模擬カルテを見ながら
2人で声だし指さし確認！！



後から採血の技術研修がある日には、部署で採血の手順をみて、必要物品の場所や、物品の使用方法について説明を受け、カルテでの確認、ベッドサイドでの患者への配慮、採血を実施する際の注意点、終了後の声かけ、止血確認の方法、後片付けなどを実際に見学します。午後からの集合研修では、講義で意味づけをし、模擬人形で実際の注射器や針、スピッツを使用して何度も採血を実施します。「午前中患者さんに実施されているところを見学してきたので、具体的にイメージでき研修に取り組めた。」「事前に手順をみていたので、研修で実施する時に自分が緊張してしまい、間違えたことにすぐに気づけ修正できた。」などの反応がありました。現場での教

育担当者や研修での講師は、現場で中心となり指導する副看護師長・認定看護師に依頼しました。また、後輩育成について学習する目的を兼ねて、院内認定看護師と卒後4～5年目看護師や感染管理リンクナースにも技術指導を依頼しました。日ごろの看護技術を改めて振り返り、手順に沿った指導を行いながら、手順ではない患者への配慮や、技術のコツについても伝授していました。新人看護師が部署に戻っても、集合研修で指導した内容は、先輩看護師が継続して現場で指導してくれるこことを確信しました。次年度も新人看護師を院内全体で支援できる体制を継続し、集合研修と現場教育が連動できる採用時研修を企画したいと考えています。



アイスブレイクで研修前にちょっとリラックス

新採用者研修に参加して

5月22日から5月24日にかけて新採用者研修が岡山医療センターにて行われ、各部門の新採用者およそ200名が一同に会しました。

研修の内容としては理事長や専門職等による講義や接遇・マナー研修、また部門ごとにわかれ、職種に合わせたロールプレイング等が実施され、私たち新採用者にとってこれから業務をこなしていく上で大変貴重な研修になりました。

このたびの研修をとおして私自身、未熟な部分を多数見出すことができ、これから機構職員として過ごしていく上で大変充実した3日間だったと思います。また、意見交換の場を設けて頂いたこともあり、事務部だけでなく様々な部門の方々との交流もあり、今後の励みにもなりました。

この研修で学べたことを活かして、日々精進していきたいです。

管理課 庶務係 河口 勇磨



看護の日のイベントに参加して

4階病棟看護師 山田 優希



各ブース	参加人数	各ブース	参加人数
血圧	173	肺機能測定	102
身長・体重・体脂肪	142	栄養相談・サンプル食品配布	25
骨密度測定	115	認定看護師の健康相談	25
血管年齢測定	166	白衣を着て写真撮影	63



5月18日(日曜日)阿知須のサンパークで行われた看護の日のイベントが開催されました。テーマは「あなたの健康をサポート～地域と共に歩む山口宇部医療センター～」でした。

今年は2度目の参加ですが、今回は実行委員として準備から参加しました。前日までの準備では、当日掲示する「看護師の仕事とは」のポスター作成、当日配布する風船や整理券の準備、また、看護自治会の方と協力し母の日のポスターを子供さんに書いてもらったりしました。当日は臨床検査技師、管理栄養士、看護師、事務職員のボランティアを含め総勢44名でイベントを行いました。10時～14時までの4時間でしたが、268名の方に来ていた

だきました。

今年度の健康相談は認定看護師による相談を行いました。様々な不安を持たれている方がたくさん来られました。計測ブースでは、血圧測定、身長体重体脂肪測定、骨密度測定、血管年齢測定、肺機能測定を行いました。特に普段は行うことの出来ない血管年齢測定、骨密度測定、肺機能測定には多くの方に測定していただき、「毎年これを楽しみに来ています。」と嬉しい言葉をもらいました。管理栄養士による栄養相談ではたくさんの疑問を持たれている方が多く来られましたが、今年は1名の栄養士の対応のため、途中で声が切れてしまい、人数制限をさせていただく場面



もありました。白衣を着て写真撮影・聴診体験ブースでは0歳～15歳の63名のお子さんが白衣を着て写真を撮られました。兄弟、姉妹の参加が多く、ご家族の方も携帯で写真を撮られている微笑ましい姿が見られました。最初は緊張されていたお子さんも満面の笑顔で写真を撮られていました。どのブースもたくさんの方に来ていただきコミュニケーションを取りながら私自身もイベントに楽しく参加することができました。

山口宇部医療センターのキャラクターである、さんちゃん、ようちゃんをプリントした風船も子供達を中心にたくさん配布しました。このイベントに来てくださった方の中には宇部医療センターへ以前入院されていた方や、今も外来で治療されている方もおられました。

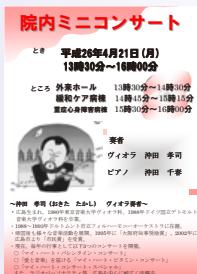
今回のイベントを通して地域の人との関わっていく事の大切さ、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。



白衣を着て撮影

院内ミニコンサートを開催して

平成26年4月21日、ヴィオラ奏者の沖田孝司さんとピアノ奏者の沖田千春さんによるミニコンサートが開催されました。外来ホールでのミニコンサートに続き、緩和ケア病棟、重症心身障害児（者）病棟で演奏が行われ大盛況のうちに終了しました。お二人の演奏にあわせて歌ったり、沖田さんの軽快なトークで楽しい時間を過ごすことが出来ました。



診療科	担当医				
	月	火	水	木	金
内科新患外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
内科紹介外来		うえ おか 上岡 博		うえ おか 上岡 博	
血液・腫瘍内科 【抗がん剤治療・肺がん等】	まえだ 前田 忠士 ちかもり 近森 研一	あおえ 青江 啓介 うつのみや としあき 宇都宮利彰	きしの 岸野 だいぞう ちかもり 近森 研一 せき 閑 千尋	まえだ 前田 忠士	あおえ 青江 啓介 きしの 岸野 大蔵
内科 呼吸器内科	こうとく 神徳 わたる おおいし 大石 済 けいじ 景士	いしだ 石田 こういち さかもと 坂本 浩一 おおふじ 大藤 健次 むらた 村田 たかし よりゆき 順之		こうとく 神徳 わたる おおいし 大石 済 さかもと 坂本 健次	いしだ 石田 こういち おおふじ 大藤 貴 むらた 村田 隆之
消化器内科 【内視鏡等】				かいのう 戒能 せいじ 聖治	
画像診断科 【画像診断等】		まつもと 松本 つねお 常男		まつもと 松本 常男	
呼吸器外科・外科 【肺がん】	おかべ 岡部 かずのり まつだ 松田 和倫 えいすけ 英祐 たなか 田中 俊樹 はやし 林 たつろう 達朗		おかべ 岡部 かずのり たお 田尾 ひろゆき たなか 田中 としき よしだ くみこ 吉田久美子	おかべ 岡部 かずのり まつだ 松田 和倫 えいすけ 英祐 たお 田尾 ひろゆき はやし 林 たつろう よしやま 吉山 康一	
乳腺・消化器外科 【胃がん・大腸がん等】			ひらさわ 平澤 かつとし 克敏 (午後・新患のみ)		
循環器内科 【心臓・高血圧等】	さいき 佐伯 幸男 さき + ゆき 幸男		さいき 佐伯 幸男		さいき 佐伯 幸男
緩和ケア内科 【完全予約制になります】	みやたけ 宮武 和代			みやたけ 宮武 和代	
放射線科 【画像診断・放射線治療等】	はしもと 橋本かおり たくち こうたろう 田口耕太郎	はしもと 橋本かおり たくち こうたろう 田口耕太郎	はしもと 橋本かおり たくち こうたろう 田口耕太郎	はしもと 橋本かおり たくち こうたろう 田口耕太郎	はしもと 橋本かおり たくち こうたろう 田口耕太郎
小児科(※) 【障害児外来】					おきの 沖野 ふみこ 文子
精神・神経内科 【てんかん等】	おの 小野 光弘	おの 小野 光弘	おの 小野 光弘	おの 小野 光弘	おの 小野 光弘
整形外科(※) 【リウマチ・骨粗鬆症等】					いまがま 今釜 たかし 崇
歯科(※)		はらだ こうじ 原田 耕志	たけなわ 竹縄 隆徳		
耳鼻いんこう科(※)			おきなか 沖中 ようすけ 洋介		
神経内科(※)			ひろしげ 廣重 美和		
Clinic for English speaking patients	Dr. K.OKABE		Dr. K.OKABE	Dr. K.OKABE	

① 外来受付時間 午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間 午前8時30分～】

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CT及び核医学（シンチグラム）の外来紹介は、地域医療連携室（内線2452）までご連絡ください。

④ ※は入院患者のみ対応です。

☆受診を希望される日の休診状況
をご確認ください。

患者紹介または外来診療に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで
地域医療連携室 受付時間：毎週月～金曜日まで 8時30分～17時15分
TEL：(0836) 58-4100 FAX：(0836) 58-2938